

## 第3回 独立行政法人農林漁業信用基金 林業信用保証業務運営委員会 議事概要

### 1 開会の日時及び場所

- (1) 日時 平成29年3月24日(金) 9時53分
- (2) 場所 東京都千代田区内神田1-1-12 コープビル11階  
独立行政法人農林漁業信用基金 第3, 4会議室

### 2 出席者

#### 【運営委員】

一場委員、兼子委員、佐藤委員、田中委員、西垣委員、  
井上委員、吉川委員、丹治委員、水上委員

(出資者・学識経験者別 五十音順)

#### 【信用基金】

堤理事長、石井副理事長、高野総括理事、飛山総括理事、井田財務担当理事、竹渕監  
事、富田監事

(オブザーバー)

#### 【主務省】

西村 林野庁企画課長補佐

### 3 提出議案

- (1) 平成29年度 年度計画(案)について
- (2) 独立行政法人農林漁業信用基金 農業信用保険業務、林業信用保証業務及び漁業信用  
保険業務に関する業務方法書の一部変更について【報告】
- (3) その他

### 4 議事経過の概要及びその結果

信用基金から資料に沿って説明がなされた後、審議が行われ、平成29年度 年度計画  
(案)については原案どおり了承された。本計画(案)等に関する各委員からの主な質問  
等は以下のとおりである。(カッコ内は質問等に対する信用基金の説明)

#### 【質問】

- 収支計画における損失は引当金繰入にリンクしたものであるが、その金額の合理的  
な説明はできるのか。  
(引当金は保証債務の損失と求償権償却のそれぞれについて、過去のトレンド等から引当  
率を用いて算定したもの。保証引受額の増加などから多額の引当金繰入が発生し、その結  
果損失が計上されるという中期計画に基づいて作成している。)
- 寄託業務について説明してほしい。  
(日本政策金融公庫が無利子の森林整備活性化資金を林業者に貸付けるための原資を信用  
基金から公庫に寄託するもの。寄託の原資は国からの出資金と金融機関からの借入金であ  
る。)
- 資金用途別保証実績資料について、信用基金として間伐・保育等の造林資金の保証がも  
っとあっても良いのではないか。  
(長期の造林資金は公庫資金が担っている。信用基金は運転資金なので短期資金であるが、  
より利用しやすくできるよう検討していきたい。)

**【意見】**

- 29年度計画を検討するにあたり、28年度計画の個別の項目について分析・進捗状況を教えてもらえると29年度計画が理解しやすい。

5 閉会の日時 平成29年3月24日（金）11時17分

以上